

第3回佐久市都市計画審議会（要約）

日 時：令和3年7月6日（火）

14時30分から

場 所：佐久市役所南棟3階 大会議室

【辞令交付式】

1 辞令交付

【審議会】

2 開 会

3 あいさつ

4 議 事

（1）議事録署名委員の指名

（2）事務報告

①傍聴者報告

②前回（第2回）議案の処理状況等報告

（3）第一号議案

佐久市無電柱化推進計画（案）について

<<第一号議案 佐久市無電柱化推進計画（案）について>>事務局より説明

（委員）

計画はものすごくよくできていると思うが、補助率は参考にどのくらいになるのか教えていただきたい。もう一点、5か年で行うのがこの3路線ということでしょうか。

（事務局）

補助率につきまして、現在のところは、電線共同溝につきましては原則、国が3分の1、市が3分の1、電線管理者3分の1ということはおっしゃってありますが、実情はその工法等によって、補助対象になる、ならないところがございますので、1kmあたり5.3億とされており、道路管理者が約3.5億、電線管理者が約1.8億と国から示されております。道路管理者の負担であります3.5億のほうに国からの補助が入ってくるということでお聞きしております。

5か年の中で3路線というところですが、現状、推進計画に示す他に、県の推進計画及び国の推進計画に示していないといけませんので、他の路線につきましても、市の中で検討する中で増えていくようでしたら、増やしていきたいと考えておりますが、現状の5か年では、この3路線を完成させたいと考えております。

(委員)

佐久平南のところの計画路線は電線共同溝方式ではないのか。

(事務局)

佐久平駅南地区のこの3路線につきましては、基本両側に歩道がついており、電線共同溝方式に基づいて、地下に管を設けてそこに電線をいれるという計画でおります。ただ、例えばですけれども、市道2-325号線については、すぐ南側に東西に走る区画道路、土地区画整理組合のほうで整備するということで一本南側に並行して走る道路があり、こちらのほうに電柱が建つ計画であるので、そちらから電線の事業者のほうに電力を供給するというので、一部両側歩道に電線共同溝を開設するのではなく、裏配線方式といわれている形態を一部とっております。

(委員)

完成が令和4年となっているようですが、どのような計画ですか。

(事務局)

佐久平駅南については、すでに道路の築造工事と一括して電線共同溝の工事を昨年9月に契約をしております。現時点では今年度末の工期ということで、令和3年度末に工期を予定してあったのですが、昨日の6月の議会でご説明させていただき、事業自体、半年ほど遅れる見込みであり、令和4年の中ほどには完成する見込みであります。これから契約の変更や、国庫補助金の調整を進める予定ですので、今のところ予定ではありますが令和4年の9月頃に道路に合わせて電線共同溝を完成させたいと考えております。

(委員)

そうするとかなり具体的な話になるわけですね。低コスト手法の導入、及び財源確保についてお取り組みの中に入っているのでしょうか。先ほどの話を含めて具体的なところを教えてください。

(事務局)

佐久平駅南の事業につきましては、都市構造再編集集中支援事業補助金という補助事業を採択いただいております。その中で補助率は2分の1となっております。また、コスト縮減というところにつきましては、先ほど申した通り両側に歩道をすべて地下埋設で行うと、1kmあたり道路管理者が約3.5億かかることとなりますが、区画道路等もあり、そちらからの電力供給ということで、電線共同溝の延長を抑える費用の縮減を考えております。

(委員)

先ほど5年の計画ということで説明がありましたが、その5年の計画以降の推進計画はないわけですか。優先整備候補路線というところで、10路線ありまして、3路線はすでに発注されており、それ以外の7路線は5年の計画の中に検討するのか、それ以降になるのでしょうか。

(事務局)

計画の5年間におきましては当面3路線ということを計画させていただいております。それ以外の7路線につきましては、路線カルテを作成した中では、工法をどうしていくか考えていかなければならないということが出てきておりますので、市のほうで今後検討していきたいと考えております。検討する中で、それ以外の路線が計画に盛り込める内容になりましたら、その変更ということで協議させていただき、そうでなければ、それ以降の計画において、その路線を入れさせていただきたいと考えております。

(委員)

佐久市の無電柱化を推進する観点の中で、観光という部分では、なかなか難しいと表の中では出ておりますが、この中山道の沿線上の皆さんからも要望等あったかと思いますが、結果的には、ポイント的にも難しいということですが、この辺はどのような検討がなされたのかお聞かせください。

(事務局)

中山道につきましては、現状、浅科宿、望月宿、茂田井間の宿、岩村田宿を検討させていただいております。望月宿につきましては、県道ということもございまして、県のほうには協議させていただいている状況であります。茂田井間の宿につきましては、路線が1路線しかない点、横に水路があるという点もあり、もう少し工法につきまして検討する必要があるということで、今回見送らせていただいております。塩名田宿につきましては、工法として電線共同溝がございませぬ。現在電線共同溝につきましては歩道につけるということになっておりまして、車道につけるといふ工法が明確になっておりませぬので、現在検討させていただいております。岩村田宿につきましても、県道ということで、協議させていただいております。

(委員)

要望をされている皆さんには丁寧な説明をしていただければと思います。

(委員)

佐久平駅南の土地区画整理事業における市道の優先順位について、同時進行なのか、同時に終わるのかなど具体的に分かれば教えていただきたい。

(事務局)

優先順位は定めておりませぬ。3路線一括して1契約で工事を発注させていただいておりますので、すべて工期につきましては一括して定めてございませぬ。ただ、現場的に制約がございませぬので最終的には完成する時期につきましては、少しばらつきがございませぬけれども、それは電線共同溝の優先順位としてではなく、現場条件の中で早めに原状回復しなければいけない路線ですとか、そういった中で、工事を進めている状況でございませぬ。

(委員)

予定とすると令和4年の9月末あたりに完成するということですか。

(事務局)

今年度完成を目指していたところでございますけれども、いろいろな調整が生じたということで半年遅れ、令和4年の9月完成を目指して進めたいと考えております。

(委員)

工事が半年遅れるということで、いろいろな調整があったかと思うのですが、6か月も遅れるということは大変なことだと思いますので、どんな調整があったのか教えていただけますでしょうか。

(事務局)

一番大きな理由としまして、今回土地区画整理事業地内が現時点では農地であったという状況です。そこに今後企業が出店するという形になりますので、そこへのライフラインの供給について設計自体が流動的であったという状況です。出店者のほうから例えば、ここにこれだけの電力が欲しいということによって、電線共同溝の発注する製品等が変わってくるという状況であり、その時間の調整に時間がかかってしまったという状況です。現時点では製品発注ができておりますので、それを考慮しますと、半年遅れるということでございます。

(4) その他

5 閉 会